ページレイアウトソフトを用いたＤＴＰ学習支援教材の作成（多段組自由レイアウト編）

産業デザイン科　髙松　徹

1.　はじめに

今日のＤＴＰ（Desktop Publishing）ワークは，次の３つのソフトウエアを活用して進められる．

イラストレーション作成や図形描画及び広告・チラシなどの端物印刷物の製作に使用するドロー系グラフィックソフト，各種画像加工及び印刷物等の素材の製作に使用するフォトレタッチソフト，そして前述２つの要素にテキストデータを加えてまとめ，さまざまな印刷物の製作に使用するページレイアウトソフトである．

ＤＴＰ学習支援教材の開発に関しては，これまで講師研究活動において，イラストレーションソフト関連とフォトレタッチ関連の教材開発を行い，ページレイアウトソフトに関しても，初期導入学習教材を作成して授業で活用してきた．また，昨年度は応用展開教材を作成し，更なる学生の能力向上を図ることを目的に授業で活用した．

2.　昨年度製作教材の授業での活用、及びアンケート結果

昨年度製作したページレイアウトソフトの応用発展教材を，産業デザイン科２年生グラフィックデザイン選択授業受講者で，これからページレイアウトソフトを学習し始める学生 13 名を対象として活用した．授業期間は平成 31 年 4 月中旬～9 月中旬で，まず初期導入学習教材を使用してページレイアウトソフト学習に関する基本的な内容を学習し，その後応用展開教材を使用して，更に複雑なレイアウトを学習していき，授業終了後にアンケートを実施した．（図１，２）

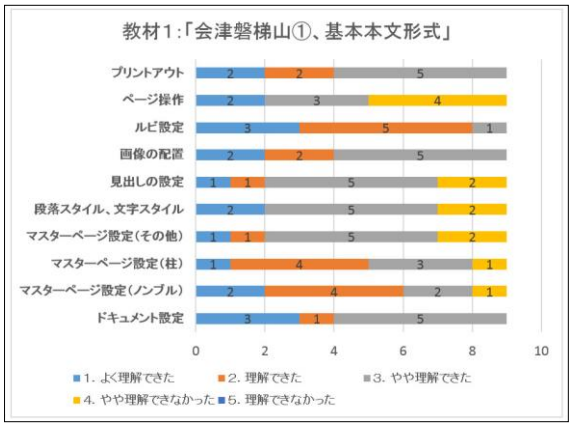

図１　初期導入教材使用後のアンケート結果

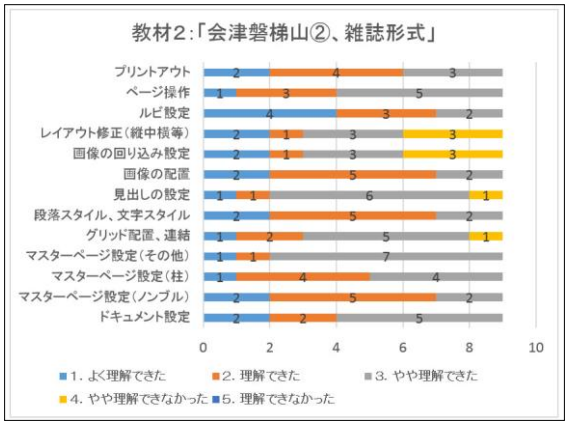

図２　応用展開教材使用後のアンケート結果

学生の習熟度としては，初期導入教材で行っていた場合に比較して全体的に上昇したといえるが，応用展開教材も基本的な体裁（３段組）は決定されているものとして展開しているため，更なる技能向上を図るためには，基本的な体裁（段組み）も自らが考え，柔軟性を持ってアレンジしていくアレンジ力が求められ，そのようなレベルに対応した教材の必要性も感じた．

そこで，この初期導入教材・応用展開教材を使用した学習の後に，より発展的な内容を学習するための，ページレイアウト学習教材を作成することとした．

3.　新たに作成するページレイアウトソフト学習教材のコンセプト

作成する教材は，次のコンセプトに基づき開発していくこととした．

(1) 自由度の高い写真等のレイアウト学習

内容はページレイアウトソフトで作成するものの中でも，特に自由度の高い写真等のレイアウトを学習できることを重要視する．

(2) 段組み表現の自由度をアップ

昨年度作成した教材は，予め決められた（３段）段組みを使用してのレイアウトであったが，さらにもっと自由な変化をレイアウト上で展開できるように配慮した．

4.　開発した教材について

前述のコンセプトの下、今年度の授業運営の状況や，学生の状況をふまえながら，次に示す工夫を施

した．これは，これまで作成してきたページレイアウトソフト学習教材の全てに共通している．

4.1　理解を促進するための工夫

(1) ３つの主要構成部．

①作業説明部 ②ポイント解説部 ③専門用語解説の３部構成となっている．わかりやすく作業を説明し，その際に注意すべきことを右側のポイント解説で理解し，さらに難しい用語についてすぐ理解できるように専門用語解説を下部に設定した．（図３）

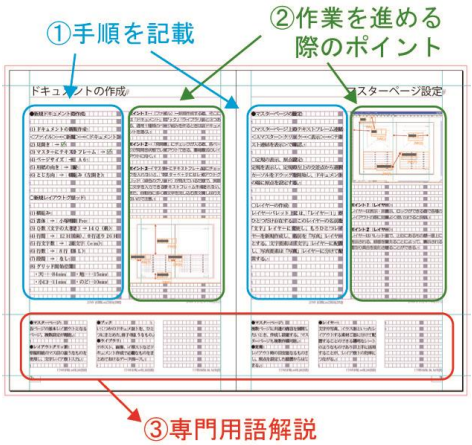

図３　教材の主要構成部

(2) 図解の多用

分かりやすい図を効果的に配置し，作業を進めやすく考慮している．

4.2　作成教材比較

初期導入教材（図４）

〇基礎的な内容を集中して学習

図４　初期導入教材による制作例

多段組み自由レイアウト教材（本年度作成）（図５）

〇写真や文字等の更に自由度の高いレイアウトを学習

・配置した写真等に対する本文の回り込み設定

・ページ処理（スプレットの分離処理）

・複雑な文字組み（縦中横、パーレン等の設定）

・自由度の高いタイトル・見出し設定

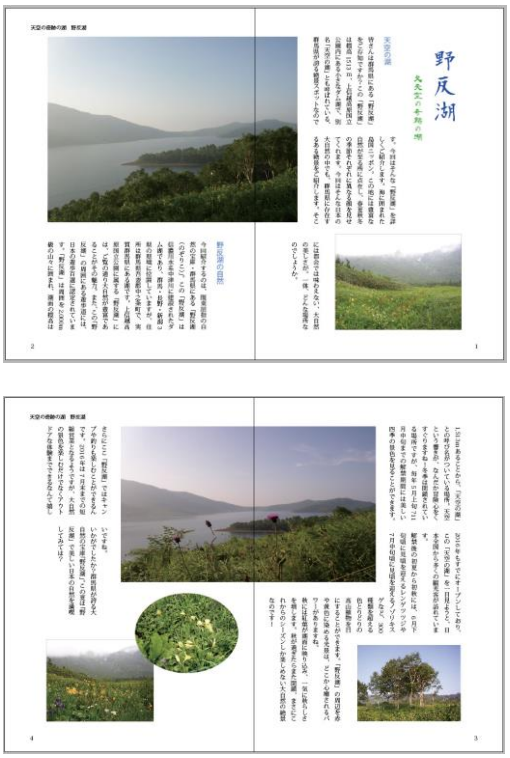

図５　多段組み自由レイアウト教材による作成例

5.　教材の検証

ページレイアウトソフト導入授業は，産業デザイン科グラフィックデザイン専攻２年生向けの年度当初に実施しているが，応用展開教材の開発は年度後半まで及んだため，来年度の同授業で使用して，アンケートを実施し，検証することとしたい．

6.　まとめ

実際に教材作成を進める中で，改めてページレイアウトソフトの習得には多くの内容を理解する必要があり，短時間で効率よくひとつひとつの要素をしっかりと学習させるには，多くの問題があると感じられた．今回作成した教材にはまだ十分ではない部分もあるので，教材本体と使用方法の見直しを行い，学生がより意欲的に取り組めるものとなるよう，来年度の授業において使用して検証し，より良いものに改善して学生のページレイアウトソフト習得に役立てたい．

7.　参考文献

7.1　書籍

新詳説ＤＴＰ実践 InDesign　Mdn 社

7.2　Web サイト

RETRIP　群馬県　野反湖

https://rtrp.jp/articles/48366/